

2026年3月期 第3四半期 決算補足資料

株式会社イノベーション（東証グロース市場：3970）

スマートフォン向けサマリ

業績ハイライト

売上高

5,029百万円（YoY + **1,136**百万円）

- ↑ 株式会社シャノン業績の取り込み開始
- ↓ オンラインメディア事業・金融プラットフォーム事業の売上高が前年比で減少

営業損益

△366百万円
（YoY **△593**百万円）

EBITDA

△27百万円
（YoY **△305**百万円）

- ↓ のれん・無形固定資産の償却
- ↓ 売上高減少が利益にヒット
- ※ 事業構造改革フェーズ。
収益性改善とグループシナジー創出をテーマとして推進中。

経常損益

△440百万円
（YoY **△662**百万円）

親会社株主に帰属する当期純利益

△437百万円
（YoY **△463**百万円）

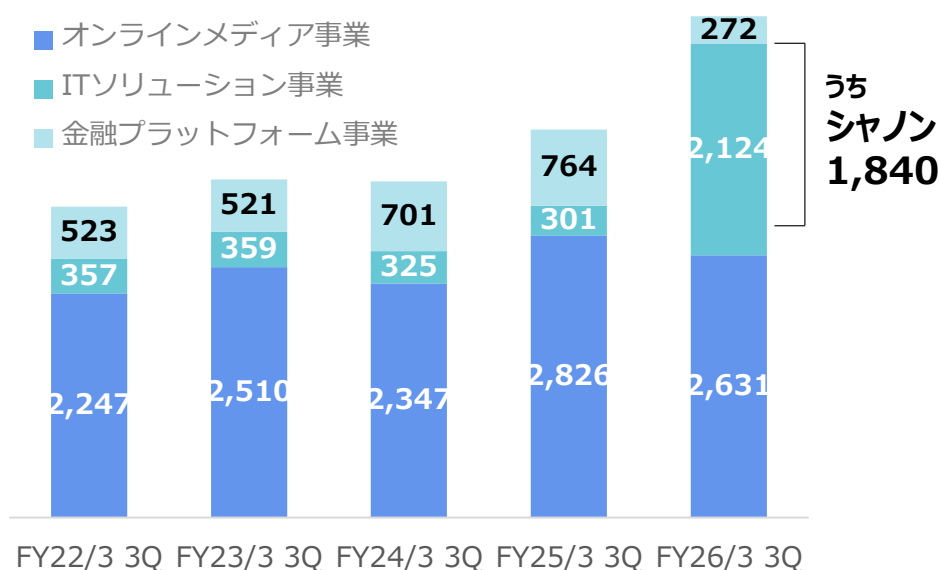
- ↓ TOBに係る借入利息増加
- ↓ 及び借換に伴うストラクチャリング手数料
- ※ 財務の安定性と投資余力を両立した
健全な資金運用体制を維持（自己資本比率37.6%）

売上高/営業損益

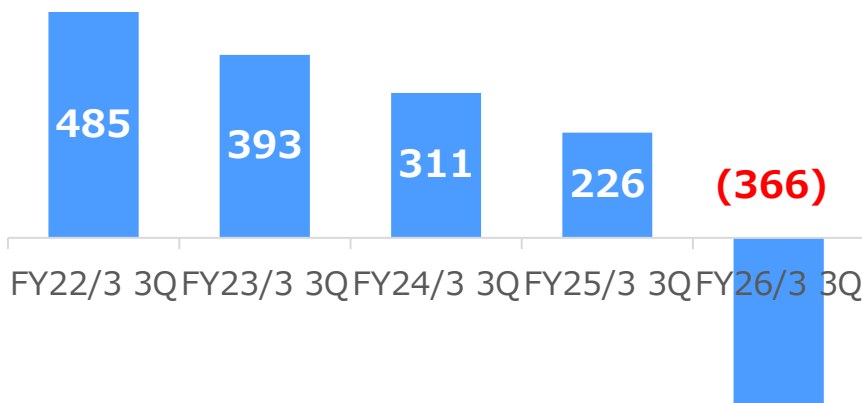
↑ 株式会社シャノンの連結開始により、
ITソリューション事業の売上高が大きく伸長

↓ オンラインメディア事業・金融プラットフォーム事業の売上高減少
のれん・無形固定資産の償却を計上

▶ セグメント別売上高 単位：百万円



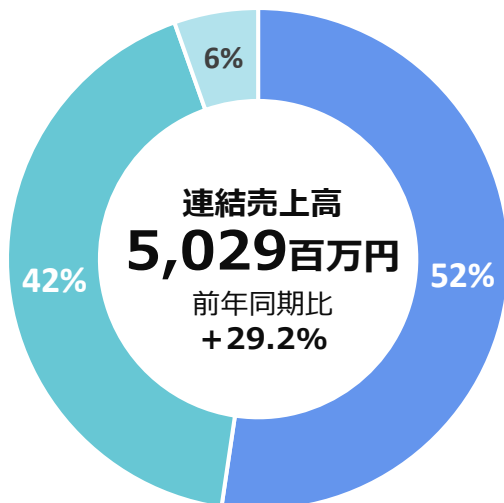
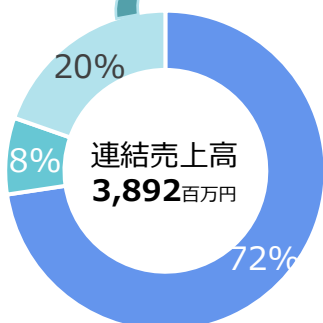
▶ 営業損益 単位：百万円



セグメント別売上高構成

↑ 連結売上高に占める割合は約42%まで上昇し、
ストック収益比率が向上

ITソリューション割合増
(+34%)



■ オンラインメディア事業 ■ ITソリューション事業 ■ 金融プラットフォーム事業

株式会社シャノン TOB後の黒字転換

↑ 徹底的なコスト削減・運用（生産）効率化により、
2026年2月5日に上方修正を開示。

▶ 株式会社シャノン業績予想の修正（連結） 単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
2025年5月予想	3,230	20	△18	△135	△25円 28銭
2025年12月予想	3,150	50	△10	△90	△16円 86銭
2026年2月予想	3,208	123	68	△28	△5円 24銭

※参照：株式会社シャノン [通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ](#)（2026/02/05）及び [通期業績予想の修正に関するお知らせ](#)（2025/12/12）

通期業績予想の修正

通期業績の売上高、営業損益、経常損益、当期純利益につきまして、下方修正を提出いたしました。

下方修正の概要

↓ 主に以下2事業における売上高の減少

オンラインメディア事業：生成AI台頭による広告効率低下・トラフィック減少の影響

金融プラットフォーム事業：固定費抑制のために業務委託部門の売却を実行したが、効果は限定的

↓ データプラットフォーム構築の遅延

生成AI台頭による影響を受けにくい会員LTV向上戦略について、利益貢献をするフェーズまで進められていない

	FY26通期 前回予想 2025 05/12公表	FY26通期 今回予想 2026 02/09公表	増減額	増減 (%)
売上高	8,300	7,080	△1,219	△14.7%
営業損益	390	△257	△647	△165.9%
経常損益	340	△342	△682	△200.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	200	△451	△651	△325.6%
配当	40.00円	40.00円	-	